

## 海と地球の未来をみんなで考えよう

2/11 マリンウェーブ



▲第2部パネルディスカッション

栗島の皆さんと記念撮影▶

科学探査船タラ号で、世界の海洋環境を調査してきたロマン・トゥルブレさんを招き、海と地球の未来を考えるシンポジウムを開催しました。東京藝術大学の日比野克彦学長の進行のもと、ロマンさんから世界の海の現状や Tara Ocean 財団の取り組みを聞きながら、環境問題について考えました。ロマンさんは、「私たちを取り巻く環境問題に対して、どうかポジティブに行動してほしい」と呼び掛けました。



▲ロマン・トゥルブレさんと日比野克彦さん



## こころの健康を保つために

2/4 市民交流センター

特定非営利活動法人マインドファーストの島津昌代理事を講師に招き、自殺予防対策事業講演会を開催しました。講演会には161人が参加し、「こころ」と「からだ」の関係やストレスとの上手な付き合い方などに、耳を傾けていました。



## キッチンカーでにんぎょいました

1/15 波打八幡宮境内・参道周辺

詫間町の浪打八幡宮境内・参道周辺で、にんぎょ会たくまが主催する「たくま 街かどめぐり」が開催されました。瀬戸内シーサイドマルシェには、地域の飲食店や雑貨店など約20店舗が集まり、多くの人でにぎわっていました。

## 東洋炭素株式会社から三豊市への企業版ふるさと納税寄付金贈呈式



## 東洋炭素株式会社からの寄付

2/3 三豊市役所

東洋炭素株式会社から「宝山湖ボールパーク夢いっぱいプロジェクト」に活用してほしいと、企業版ふるさと納税として1,000万円の寄付をいただきました。

近藤 尚孝代表取締役会長兼社長兼 CEO は、「スポーツを通じて、子どもたちがたくましく育つことは素晴らしい」と寄付に込めた思いを話しました。

## 子どもたちの防災意識を高めるために

1/26 三豊市役所

凸版印刷株式会社が開発した、小・中学生向けデジタル防災教育教材「デジ防災™」の導入に関する説明会および記者発表会を行いました。



「デジ防災™」とは、デジタル端末を使用して、1回当たり10～15分間で防災についてクイズ形式で学習できるシステムです。市内の小・中学校に導入し、子どもたちの防災レベルや防災意識を高めていきます。

◀「デジ防災™」の体験も行われました



▲(左から)山下市長、凸版印刷株式会社執行役員 西山都也 中四国事業部長

## 苗から育てたサツマイモを焼き芋に!

1/31 麻小学校

麻小学校全校児童107人と麻幼稚園児19人が、焼き芋体験をしました。サツマイモは、麻小学校5年生が苗から育て、収穫した鳴門金時で、子どもたちは、甘くておいしい焼き芋を味わっていました。



◀自分たちで作った焼き芋はおいしい!

## みとよHOT NEWS

ほっとニュースは市ホームページでも

三豊市



## 新たな産品「モリンガ」って?

2/9 三野津中学校

地域課題を考えて地元の人と協働する「三野津地域プロジェクト」の一環として、三野津中学校2年生がスーパーフード「モリンガ」について学びました。生産者から特徴や効能などを聞いたほか、実際にモリンガ茶を試飲しました。

## 栗島スマートアイランド推進プロジェクトNextを実施

1/27 須田港・栗島

遠隔医療×水上ドローン(船舶ロボット)による、輸送実証実験「栗島スマートアイランド推進プロジェクトNext」が行われました。

これは、「医療」「物流」という観点から、島民の生活に新しい選択肢を創造して離島の活性化をめざすことを目的としています。



▲本島の薬剤師がリモートで島民に服薬指導をします



▲遠隔操縦で無人水上ドローンが出航。日用品や医薬品を栗島まで運びます



▲島民が届いたものを受け取りに来ました

## おめでとうございます



▲(中央)田井 清さん

## 日本善行表彰を受賞

12/26 三豊市役所

三野町の田井 清さんが、一般社団法人日本善行会による令和4年度秋季善行表彰を受賞しました。田井さんは長年にわたり、子ども会の指導者などとして、さまざまな青少年の健全育成に貢献したとして表彰されました。